

令和3年度 第1回 横浜市自転車等施策検討協議会 議事録

日 時	令和3年11月12日（金） 10:00～12:00
開 催 場 所	市庁舎18階会議室
出 席 者	岡村委員（会長）、阿部委員、井上委員、大石委員、岡崎委員、角地委員、苅部委員、絹代委員、小嶋委員、五反田委員、佐竹委員、鈴木委員、長谷川委員、八郷委員 計14名（小嶋委員はオンラインでの出席）
欠 席 者	青木委員、馬場委員、福田委員 計3名
開 催 形 態	公開（傍聴者2名・報道関係者0名）
資 料	次第、委員名簿、説明用資料

1. 開会

①開会あいさつ

- ※人事異動により新任委員紹介
- ※開会あいさつ後、会議の公開等に関する説明
- ※事務局より配布資料について確認
- ※以降の議事進行を議長に引き継ぎ

2. 議事

(1) 各施策の実施状況について

(事務局)

- ※説明資料を用いて、「各施策の実施状況について」説明

(鈴木委員)

- ・ 「SHARE THE ROAD」について、自転車で市内を走っていると市営バスにはほぼステッカーが貼られていると感じた。私も「SHARE THE ROAD」のストラップを鞆に着けているが、バスと一緒に自転車で走っていると運転手さんが優しいと感じる。
- ・ 以前このデザインは分かりにくいという意見もあり、私もそうだなと思ったが、知っている関係者から広めていくのも良いのかなと思った。
- ・ 臨港バスや養護学校のバス、幼稚園の送迎バス、教習所のバスなど「SHARE THE ROAD」を広めていけるチャンスがあると思うので、広めてほしい。

(事務局)

- ・ 現在のところ神奈中バスと市営バスでステッカーの貼り付けを実施しており、今後も他のバス会社も含め様々なところへ依頼を進めていきたいと考えている。

(絹代委員)

- ・ 「SHARE THE ROAD」は非常に良い運動だと思うが、せっかくやるのであれば誰もが分かる形にしないともったいない。
- ・ 動画を作っているというお話もあったが再生回数が良くないようなので、どうやって届けるのか、今無関心な方々にどうやって気づいてもらうのか、効率についても考えると良い。
- ・ また、鶴見区で最近、自転車の事故があったと聞いたがここは自転車ネットワーク整備の重点エリアだったのか。

(事務局)

- ・ 事故の正確な場所がこの場ではすぐに分からないが、重点エリアについては警察・土木と協議して整備できる所を中心に進めていき、協議が整い次第、順次整備していきたいと考えている。

(絹代委員)

- ・ 保育園にチラシを配り入園時説明会での配布及び説明の依頼をしているとのことで、そのチラシでもチャイルドシートの重要性について書かれている。非常に分かりやすいチラシだと思うが、残念ながらほとんどの方がチラシを読んでいないようである。チラシではなく入口にポスターを貼るなど、園児を送り届けるたびに保護者が目にするような形が良いのではないかと。
- ・ 動画も YouTube に上げても見てもらえないというのが現状だと思うので、上映してもらえるような店舗を探すなど、協力してくれる味方を見つけていかないとこうした広報は難しいと感じる。
- ・ 小学生のルール違反や高校生の危険な運転も増えている。自転車を活用する人の割合が増えた分、ルールを伝える方法や効率に本気になる必要がある。
- ・ ぜひ色々な機関を味方につけて進めていってもらいたい。

(事務局)

- ・ 保護者向けの交通安全教室を実施しており、自転車のルールや道路の歩き方といった基本的な交通ルールを説明している。保護者から子どもに伝えることも効果的だと考えているので、チラシだけでなくこうした取組も引き続き行っていきたい。
- ・ 動画を作っても広がっていかないという点も課題だと認識しているので、広めるための施策についても検討していきたい。

(阿部委員)

- ・ 保護者向けの教材・動画・説明資料などを如何に届けるかという点で、自転車を購入する時は安全に対する意識も高まっていると思うので、販売店との接点は非常に重要である。販売店に協力を依頼している配布物の中に保護者向けの啓発物も入れるなど、取組を広げていくことが重要。
- ・ 如何にモチベーションが高まっているところ・タイミングで情報を届けるかを考えていくことが必要。

(事務局)

- ・ 鈴木委員にもご協力いただきながら自転車商協同組合など個人事業主の自転車店には配付啓発物を配らせていただいている。
- ・ 新たに自転車防犯協会を通じて大型量販店の自転車店にも徐々にルールブックやリーフレットなどを置かせてもらっているので、保護者向けのチラシも含めて今後広めていきたい。

(大石委員)

- ・ ベイバイクの今後の利用促進について、他の公共交通との連携が重要である。せっかくバス停や駅の直近にサイクルポートがあるので、相互利用することで利用料が安くなるなど、ソフト面での連携によって利便性を高めて利用促進に繋げることも重要。
- ・ 最近では街に人が増えたと言われるが、みなとみらい線の利用状況を見るとあまり増えていないと感じる。感染を恐れてマイカーを利用する方の割合が増えているのではないかと思う。
- ・ そうした中では、公共交通を利用し、末端交通としてベイバイクを利用いただくことは、地域の交通という観点で非常に重要で、結果としてベイバイクの利用率も向上することになる。

- ・ 自転車そのものが環境に優しいということもあるので、公共交通体系を使って観光をしてもらうことが重要。関係部署や公共交通を担う事業者との連携を期待したい。

(事務局)

- ・ 公共交通機関の事業者と連携していくことは非常に重要だと考えているので、ベイバイクの運営事業者とも話し合っって進めていきたい。

(岡崎委員)

- ・ 先ほどベイバイクの広告（ドレスガード広告）収入が上がらないとの説明があった。私たち観光コンベンションビューローにも、以前、運営事業者からベイバイクの後輪部分の広告枠に出資してくれるクライアント探しに協力してほしいというお話しがあり、声掛けをしたがなかなか見つからないという状況だった。
- ・ 広告スペースが中途半端な大きさであり、また走行中の視認性が悪いという問題もあるので、そこを工夫した方が良いという話を運営事業者ともしたことがある。
- ・ 今後も、ドレスガード広告による付帯収入獲得を進めるのか、利用料収入をベースに収支を考えるつもりなのかを伺いたい。タクシーのラッピング広告を例に、車体ラッピングを実現すれば大口のクライアントを獲得することもできるのではないかと。

(事務局)

- ・ ご指摘のとおり、ドレスガード広告は走行中見えづらいと感じた。
- ・ 利用料収入がベースとなっていくが、今後の課題として検討していきたい。

(岡崎委員)

- ・ 自転車活用検討からは離れるが、私たちのところへパーソナルモビリティ関連のいくつかの事業者の方から市内で事業を展開したいというお話が来ている。具体的にはキックボード。脱炭素で環境に優しい形で移動が成立する街というのはアピールになるが、安全性の問題やベイバイクとの競合などもある。市としては支援や連携を行うのか。

(事務局)

- ・ ベイバイクとしては競合する可能性がある一方で、今後その点は考えていきたい。キックボードも末端交通の一端という考え方もあるが、一方で事故が多いといった不安もある。現在行われている、みなとみらい地区での実証実験の結果や今後の動向も見極めながら検討していきたい。

(小嶋委員)

- ・ スライド 27 の弥生台駅の駐輪場の有効活用について、とても良い取組だと思う。民間の力と一緒にやっていくのはすごく良い取組だと感じた。こうした取組について市内で広げていくという計画はあるのか。

(事務局)

- ・ 協議会からの答申でも自転車駐車場の再整備や新規整備について公民連携というお話をいただいている。現時点では、弥生台の他に具体的な場所はないが、今後検討を進めたいと考えている。

(絹代委員)

- ・ 自転車活用推進計画の中でも特には触れられていないようだが、自転車関係の施策は、SDGsを意識したものにならないのか。
- ・ 自転車は究極の SDGs ツールと言われており、そうした点もあわせてアピールすることで訴求性

が高まる可能性もある。そうしたことを意識しながら、今後バスや電車と自転車を組み合わせた移動を格好いいライフスタイルとして提案していただけると良い。

(事務局)

- ・ 自転車活用推進計画の中では、SDGs に関する記述として「計画の推進」の中で SDGs の視点を踏まえて計画を推進することになっている。
- ・ 委員からのお話にもあったとおり環境に寄与する非常に重要なツールであると考えているので、施策の推進をしていくにあたり意識しながら取組を進めていきたい。

(角地委員)

- ・ 警察から自転車に関連した事故の発生状況についてご紹介したい。
- ・ 本年 9 月末の数字で県内で 3,870 件の自転車関連事故があり、昨年から 431 件、12.5%増えている。
- ・ 横浜市では 1,241 件事故があり、177 件、16.6%の増となっている。
- ・ 「いかす」や「まもる」など良い施策があり、自転車の環境も良くなっていると感じるが、その一方で交通事故も増えている。警察としても交通指導取締りや交通安全教育を行っているが、コロナ禍で小学校や企業での安全教育を控えるという現状もあり、市とも連携しながらやっていきたい。
- ・ スライド 40 にベイバイクの利用が多い時間帯の記載があり、通勤の 8～10 時や 18～20 時が多いということで、事故もこの時間帯に多く今後の検討課題だと思っている。市とも連携して取り組んでいきたいと思っている。

(岡村会長)

- ・ 交通事故自体も若干増えているが、それでも自転車関連事故の増加が顕著ということ。
- ・ 昨年はコロナの自粛で例年と若干違った傾向だったという面もあるかとは思う。

(阿部委員)

- ・ 「はしる」の説明で事故の発生状況を把握して自転車通行空間の実行計画を作るということだが、事故の状況を把握できるのであればそれを紹介することもできないか。
- ・ どういった場所で事故が多くまた少ないのかを公開することで周知に繋がる。自転車通行空間整備は時間がかかるが、その間に情報を公開することで安全な走行に繋がる。
- ・ ただ事故が多いからそこを避けるのではなく、そこをどう通れば安全に通行できるのかも周知できるのではないか。
- ・ また、ベイバイクは朝夕の通勤などは利用時間が短い方が良いが、昼間は、一回の利用時間を増やすことが大事になる。
- ・ 例えば、ポートの範囲内でのスタンプラリーなどを企画し、地元の店舗にも協力してもらい割引などのサービスを行いそれをスマートフォン上でも見られるように、シェアサイクルの事業者とタイアップしてできないか。
- ・ そうすることで地域を巡る動機付けにもなる。先ほど新たなモビリティのお話も出ていたが、近距離での移動では有効な反面、ある程度の時間や距離を移動する場合は、車輪径が小さいなど不安定な面があり、自転車の優位性が出てくると思うので、ある程度長い時間の移動を想定した対策を考えると良いと思う。

(事務局)

- ・ 交通事故の特徴・傾向を踏まえた啓発という点で、公式ツイッターも活用して注意喚起をしていきたい。
- ・ スンプラリーというご意見も公共交通機関との割引などに関連性があると思うので、広告収入だけでは厳しい状況の中、新たな活性化に向けた検討を行っていきたい。

(八郷委員)

- ・ バス業界は大変厳しい状況であり、10月の緊急事態宣言解除後も利用客が戻っていない。在宅や自転車の利用などに替わっているのではないかと思う。
- ・ そうした状況の中、バス事業者としては大変苦勞している状況である。

(岡村会長)

- ・ まず安全啓発について、ターゲットを絞り効果的に行うことが肝である一方、中期的なことを考えると、自転車に乗る多くの人は免許を持っているので、双方の立場で理解をしてもらうことが重要である。
- ・ 次にベイバイクの今後について、「ベイバイク事業」としてどうしていくのかと、市内の移動体系の整理、両方の側面から考える必要があるのではないかと。シェアサイクルの利用増加が他の交通モードへ影響を与えるようであれば、どのような利用シーンを想定し、どの程度利用を増加させるべきか整理する必要がある。
- ・ ベイバイクはどのようなシーンで利用を促し、また他のシーンではバスや電車を使ってもらうのかという交通体系全体の大きな考え方が整理され共有されていると、新しいモビリティが入ってきた時でも同じように整理できる。
- ・ 1つの例として、時間帯で料金を変えることは難しいかもしれないが、促したい利用に応じた料金体系を導入する方法もあるのではないかとと思うので、その辺りも視野に検討してもらいたい。

(事務局)

- ・ バスからベイバイクへの転換については、バスは市内初乗り 220 円でベイバイクは 1 回 165 円と安く、本牧地区から元町・中華街に向かう利用が多いのもその影響が大きいのではないかと考えている。
- ・ 採算性の確保と交通施策の一致について、難しい問題ではあるが、市の施策として考えなければいけない課題と認識している。

(岡村会長)

- ・ ベイバイクの利用回数を増やすのはそれほど難しくはなく、例えば駅の近くと駅から離れた団地のそれぞれにポートを置けば利用は増える。そのため頑張れば頑張るほどバスとの競合が必然的に起こる。
- ・ 場合によっては駅の近くにはポートを置かない、ポートから溢れるならその場所には置かないなど色々な整理の仕方がある。

(絹代委員)

- ・ バス・電車 1 日乗車券などがあるが、バス・ベイバイク 1 日乗車券などは作れないのか。
- ・ バスと自転車を組み合わせて、より環境に優しい方法で横浜を旅したらもっと広く動ける、とい

った新しい切り口のポジティブな提案があると良い。

(事務局)

- ・ ベイバイクと電車のセット一日乗車券など、相互利用する取組をスタンプラリーなどもあわせて検討すべきだと思う。
- ・ 今まではポートを増やせば利用が増えたが、今後は時代に即した施策が必要だと思っているので、検討していく。

(2) その他

(事務局)

- ・ その他としては特になし

3. 閉会